

編集後記：「天気」購読を冊子体から電子版に切り替えて、しばらく経ちました。以前は、月末の出勤時に、職場の郵便物受け取りロッカーに配布されている冊子を手に取り、そのまま朝一のコーヒーを飲みながら記事に目を通すのが習慣でした。怠惰な性格ゆえ、冊子体をやめてからふと気がつく、「天気」を読まないまま数ヶ月が過ぎてしまい、慌ててパソコンを開いて会員サイトから Web ブラウザ上で閲覧することに。しかしその状態だと読み難いし、辞書や検索機能がうまく使えなかったので、タブレットの本専用アプリから開いてみると、なかなか快適でした。来月もこの調子でいきたいところですが、自ら取りに行くのがちょっと面倒と思ってしまったのは、編集委員の風上にもおけないでしょうか。最近、家人が新聞の購読をオンラインに替えたところ、あまり読まなくなったようです。こと新聞や雑誌に関しては、手の届く範囲に置きつつ、気ままに手にしてめくったり透かしてみたりする感覚はやはり替え難いかもしれません。といっても、デジタルネイティブ世代はまた違った感覚をお持ちかもしれませんけれども、

無類の本好き（ジャンルは相当偏っている）で、こ

こ数十年はほとんどの本を電子版で購入してタブレット上で読んでいます。ほぼ文章だけなので、電子でも全く不満はなく楽しめるし、何より場所を取らないのといくらでも持ち歩ける（正確にはクラウド上から取り出せる）のが便利です。しかし困るのは、人にお勧めしたいときです。タブレットごと貸すわけにもいかず、そんなときは紙の本が便利だと思いつくと思います。本屋や図書館で、たまたま手にして面白い本に出会うのも、いまだに紙が捨て難いところ。電子本でも気軽にリアルな感覚で試し読みやシェアができるよう、今後の発展に期待です。

さて最近の「天気」で早速に面白い論文を読んだのですが、チラリと見せたい会員外の方には、「6ヶ月待ってね」、あるいは「会員になってね」、というのが正解でしょうか。ちなみに、解説、論文、短報については、J-Stage「天気」(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tenki/-char/ja>)で刊行から1ヶ月遅れくらいで公開されますので、会員外の方にはそちらをお勧めできます。

(大塚道子)